

令和8年度 大島地区教育推進プラン

令和8年4月9日現在

【本地区の特性】

- 奄美群島日本復帰73周年を迎える。有為な人材を数多く輩出し、「人材の島」「教育の島」と謳われている。
- 多数の小規模校や複式学級を有している。保護者や地域住民は、教育に対する関心が高く、学校に寄せる期待が大きい。
- 世界自然遺産にも登録された豊かな自然が残されており、文化財・天然記念物等も多く、方言や伝統芸能が大切に引き継がれている。
- 「結いの心」が受け継がれ、絆や助け合いを大切にする気風が残っている。
- 多くの若者が進学・就職のために、中学校卒業後や高等学校卒業後に島立ちをする。

【学校・園数、児童・生徒・教職員数】 ()は私立別掲

学校種	園・校数
幼稚園・認定こども園	15(9)
小学校	78
中学校	42
義務教育学校	2
高等学校	8(1)
特別支援学校	1
児童生徒数	8,067人
教職員数	1,323人

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進 ～人権教育を全ての教育の根幹に～

到達目標 (特に小中の区分がない箇所は小中共通の目標値)

豊かな心と健やかな体 (主に「本県教育施策の方向性Ⅰ」に関連)	「確かな学力」の定着 (主に「本県教育施策の方向性Ⅱ」に関連)	開かれた信頼される学校づくり (主に「本県教育施策の方向性Ⅲ～Ⅴ」に関連)																																													
<ol style="list-style-type: none"> 人権に関する評価の向上(R8全学調・鹿学調ともに) <table border="1"> <tr> <td>自分にはよいところがある</td> <td>85%以上</td> </tr> <tr> <td>先生は自分のよいところを認めてくれている</td> <td>90%以上</td> </tr> </table> 読書運動の充実 <table border="1"> <tr> <td>小学校(100冊以上)</td> <td>中学校(40冊以上)</td> </tr> </table> いじめ問題への適切な対応(1件でも多い認知) <table border="1"> <tr> <td>3か月が経過した事案の解消率</td> <td>100%</td> </tr> </table> 不登校の未然防止 <table border="1"> <tr> <td>新規不登校 0</td> <td rowspan="2">100%</td> </tr> <tr> <td>不登校在籍率の低減(前年度比)</td> </tr> </table> 体力・運動能力の向上 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">運動が好き</td> <td colspan="2">体育・保健体育が楽しい</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>中学生</td> <td>小学生</td> <td>中学生</td> </tr> <tr> <td>男子 100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>女子 95%以上</td> <td>90%以上</td> <td>95%以上</td> <td>95%以上</td> </tr> </table> <small>全国体力・運動能力、運動習慣等調査(対象:小2・4～6、中1・2)</small> 健康教育の充実 <table border="1"> <tr> <td>むし歯治療率</td> <td>小(70%)</td> <td>中(60%)</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭の活用</td> <td colspan="2">各学校1回以上</td> </tr> </table> 	自分にはよいところがある	85%以上	先生は自分のよいところを認めてくれている	90%以上	小学校(100冊以上)	中学校(40冊以上)	3か月が経過した事案の解消率	100%	新規不登校 0	100%	不登校在籍率の低減(前年度比)	運動が好き		体育・保健体育が楽しい		小学生	中学生	小学生	中学生	男子 100%	100%	100%	100%	女子 95%以上	90%以上	95%以上	95%以上	むし歯治療率	小(70%)	中(60%)	栄養教諭の活用	各学校1回以上		<ol style="list-style-type: none"> 学力向上(R8全学調・鹿学調ともに) <table border="1"> <tr> <td>全教科</td> <td>県平均以上</td> </tr> </table> 一人1研究授業の確実な実施 <table border="1"> <tr> <td>研究授業の実施率</td> <td>100%</td> </tr> </table> ICT活用 <table border="1"> <tr> <td>ICT機器(一人1台配備されたPC・タブレット等)の授業での活用</td> <td>ほぼ毎日使用</td> </tr> </table> <small>※「教師が使って学ばせる」から「子供が使って学ぶ」活用を重視し、そのよさを実感できる取組とする。</small> 特別支援教育 <table border="1"> <tr> <td>「個別の教育支援計画」への合理的配慮の明記(特別支援学級及び通級による指導を受けている児童生徒)</td> <td>100%</td> </tr> </table> 	全教科	県平均以上	研究授業の実施率	100%	ICT機器(一人1台配備されたPC・タブレット等)の授業での活用	ほぼ毎日使用	「個別の教育支援計画」への合理的配慮の明記(特別支援学級及び通級による指導を受けている児童生徒)	100%	<ol style="list-style-type: none"> 地域人材を活用した自然・伝統文化的な体験活動の充実 <table border="1"> <tr> <td>年3回以上の実施率</td> <td>100%</td> </tr> </table> 不祥事根絶に向けた服務指導の徹底 <table border="1"> <tr> <td>全職員で分担する服務研修の実施率</td> <td>100%</td> </tr> </table> 学校の業務改善の推進 学校事務の適正化 	年3回以上の実施率	100%	全職員で分担する服務研修の実施率	100%
自分にはよいところがある	85%以上																																														
先生は自分のよいところを認めてくれている	90%以上																																														
小学校(100冊以上)	中学校(40冊以上)																																														
3か月が経過した事案の解消率	100%																																														
新規不登校 0	100%																																														
不登校在籍率の低減(前年度比)																																															
運動が好き		体育・保健体育が楽しい																																													
小学生	中学生	小学生	中学生																																												
男子 100%	100%	100%	100%																																												
女子 95%以上	90%以上	95%以上	95%以上																																												
むし歯治療率	小(70%)	中(60%)																																													
栄養教諭の活用	各学校1回以上																																														
全教科	県平均以上																																														
研究授業の実施率	100%																																														
ICT機器(一人1台配備されたPC・タブレット等)の授業での活用	ほぼ毎日使用																																														
「個別の教育支援計画」への合理的配慮の明記(特別支援学級及び通級による指導を受けている児童生徒)	100%																																														
年3回以上の実施率	100%																																														
全職員で分担する服務研修の実施率	100%																																														

大島地区学力向上プロジェクト

目標達成のための共通実践事項

<ol style="list-style-type: none"> 心を育てる教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> 「人権尊重の理念」を上位に位置付けた学校経営の推進 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う「特別の教科 道徳」の充実 ともに親しむ読書運動の充実 いじめ・不登校・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の自尊感情・自己有用感の育成と望ましい学級集団・人間関係づくりを深めるための授業や活動の実施(魅力ある学校づくりの推進) 年5回以上の実態把握及び心情に寄り添った早期対応 意図的・計画的な教育相談・働き掛け・支援の実施 体力・運動能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業に基づく体力・運動能力の向上 家庭・地域と連携した体力づくり 健康教育の充実、食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 現代的な健康課題への適切な対応 学校教育全体を通した食に関する指導の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 <ul style="list-style-type: none"> 「授業充実の3ポイント」を踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」 【目標の明確化 山場の工夫 確かめ・見届け】 ※「見通し」と「振り返り」の一体的な充実 ※「知識の理解の質」を高める深い学びの実現 □「学習者主体の授業」づくり □「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 □諸学力調査の結果、MEXCBT、演習問題の活用 □「学びの羅針盤」大島の教育Pamphlet □「先生～っ！それ、私たちがやりたい！」の活用 家庭学習の充実「家庭学習マイゴールチャレンジ」 <ul style="list-style-type: none"> □家庭学習の「質」「量」の充実 □家庭学習の主体的な「ゴール」設定 □授業と運動した内容の充実やICTを活用した工夫改善 授業力向上を図る研修等の充実 <ul style="list-style-type: none"> □子供の学びの姿に着目した授業研究会の推進 教育の情報化の推進 <ul style="list-style-type: none"> □情報活用能力(情報モラルも含む)の育成 □プログラミング教育及び遠隔・オンライン教育等の推進 □「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けた一人1台端末等の活用充実 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> □全ての児童生徒のための環境づくり・授業づくり □個別の教育的ニーズに基づく支援の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 奄美のよさを生かし、地域に開かれた学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> □地域学校協働活動の推進と積極的な人材活用 □学校評価と学校の教育活動の情報発信の工夫・充実 □島唄・島口、美ら島運動の充実 服務規律の厳正確保 <ul style="list-style-type: none"> □職責感を高めるための「全職員で分担する服務研修」の実施 □個別服務指導強化期間(4・5月)の個別指導徹底 □不祥事防止強化月間(8・12月)における「参加型・体験型を取り入れた服務研修」の実施 学校の業務改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> □学校における業務改善への積極的な取組 学校事務の適正化 <ul style="list-style-type: none"> □実効性のある自主検査の徹底 □学校事務指導の充実 □事務職員研修の内容と開催方法の改善・充実
---	---	---

「学びの羅針盤」「生徒指導提要」「大島の教育Pamphlet」「先生～っ！それ、私たちがやりたい！」の活用及び「カリキュラム・マネジメント」の実現

学校・家庭・地域が連携して取り組む三つの運動

「家庭学習マイゴールチャレンジ」「ともに親しむ読書運動」「島唄・島口、美ら島運動」

大島地区学力向上プロジェクト

本地区の学習指導に係る課題

- ◆ **確かな学力の育成**
特に「学びを調整する力」、「自分の考えを表現する力」、「ICTを活用する力」の育成に課題
- ◆ **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた日々の授業改善**
特に児童生徒の主体的な学び(課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと)や対話的な学び(話し合う活動を通じて、考えを広げたり、深めたりすること)を通じた深い学び(単元全体を見通して教科の本質に迫ること)に課題
- ◆ **児童生徒の多様性を踏まえた学習指導・学習支援**
ICTの活用による「個に応じた指導」の一層の推進、多様な学びの提供

主な学力向上の取組

教育の情報化の推進

- 各教科・領域の内容に応じた情報活用能力の着実な育成
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けたICTの活用
- プログラミング教育及び遠隔・オンライン教育の推進

家庭学習の充実

- 「質の高い授業」の実現を支える「家庭学習マイゴールチャレンジ」の推進
- 課題の内容の精選・方法の工夫(授業と連動した課題、不足している力を養う課題)

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- 「学習者主体の授業」づくりの推進、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 諸学力調査(児童生徒質問紙等を含む)の結果、MEXCBTを用いた演習問題の活用
- 「学びの羅針盤」「大島の教育Pamphlet」「先生～っ！それ、私たちがやりたい！」の活用
～授業改善の根底は、「学習者主体」という意識改革～

校内研修の充実

- 「学習者主体の授業」実現プロジェクト等を通じた小中連携の推進
- 児童生徒の学びの姿に着目した授業研究会の充実
- 一人1研究授業、法定研修の充実

カリキュラム・マネジメントの実現

- 各教科等の特質を生かし、「学習者主体の授業」の実現に向けた教科等横断的な視点からの教育課程編成
- 学校全体における教育課程の実施状況の評価及び改善の徹底

「授業充実の3ポイント」を踏まえた児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」づくりの推進
「目標の明確化」、「山場の工夫」、「確かめ・見届け」

～授業デザイン(1単位時間)のポイント～

ポイント1【目標の明確化】 ゴール(児童生徒が身に付ける力)が明確な授業(開始10分以内の導入)

【目指す児童生徒の姿】 ゴールに向けて主体的に見通しをもつ児童生徒の姿

ポイント2【山場の工夫】 思考を深めるための学習活動や指導の工夫がある授業

【目指す児童生徒の姿】 見方・考え方を働かせ、使う道具や活動形態等を主体的に「選択・決定」し、学習に関する自己調整をしながら、ねばり強く知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現しようとしていたりしている児童生徒の姿

ポイント3【確かめ・見届け】 分かるようになった・できるようになった実感のある授業(ラスト10分間の充実)

【目指す児童生徒の姿】 主体的に自らの学びを振り返り、次時の学習につなぐ児童生徒の姿

～単元構想を大切に～

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、その実現を図る必要がある。